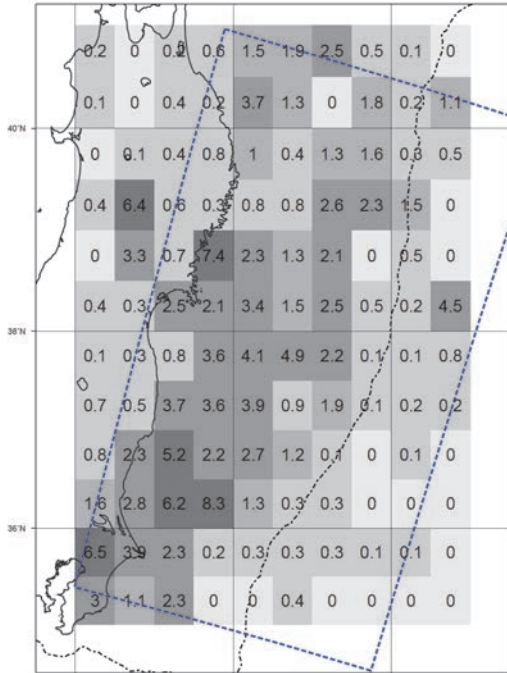
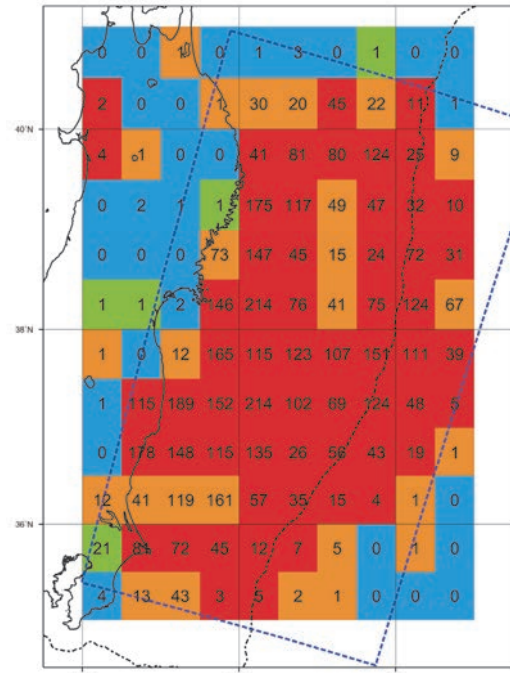


（5）1年毎の余震発生回数の推移

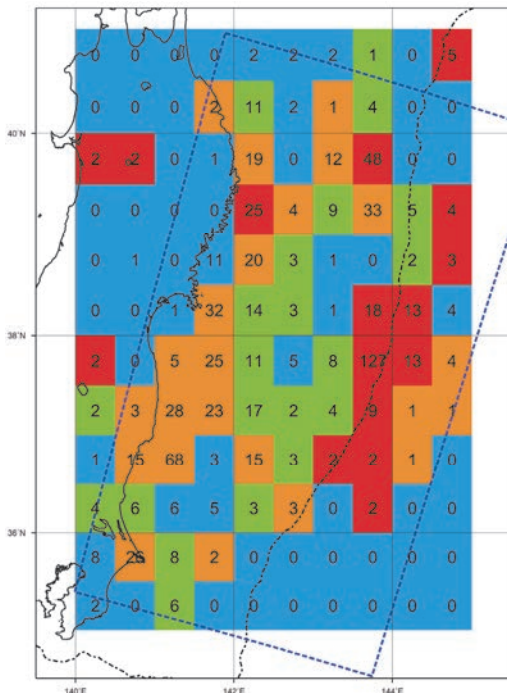
東北地方太平洋沖地震発生前後の地震回数を、0.5°毎に区切った領域で比較した結果を図5に示す。地震活動は全体的に低下し、発生前の2倍未満まで低下した領域もあるものの、沿岸に近い領域及び海溝軸付近では、依然、東北地方太平洋沖地震の発生前に比べ活発な状態が続いている。



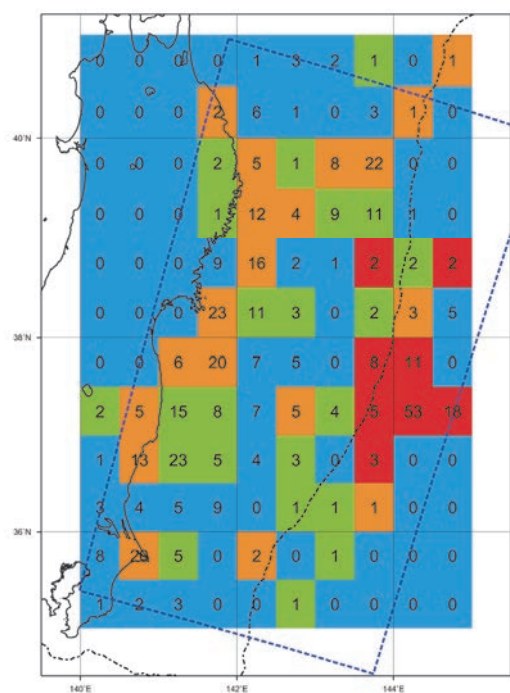
①2001～2010年の年平均地震発生回数



②東北地方太平洋沖地震発生から1年間
(2011年3月11日14時46分～2012年3月11日14時45分)



③東北地方太平洋沖地震発生の1年後から1年間
(2012年3月11日14時46分～2013年3月11日14時45分)



④東北地方太平洋沖地震発生の2年後から1年間
(2013年3月11日14時46分～2014年3月11日14時45分)

色	地震発生数比※
青	2未満
緑	2以上 5未満
黄	5以上 20未満
赤	20以上

図5 東北地方太平洋沖地震発生前と発生後の各1年の地震回数比 (M ≥ 4.0)

② - ④ の格子内の色は各期間の地震回数比、数は地震回数を示す。
各図内の点線は東北地方太平洋沖地震の余震域を示す (図1-1の領域a)。

※地震発生数比

東北地方太平洋沖地震発生前の10年間(2001年～2010年)の年平均地震発生回数に対する、各期間の年地震発生回数比。2001年～2010年にM4.0以上の地震が発生していない領域については、0.1回(／1年)として計算している。